地域協働学校だより No.7

令和４年 12 月 22 日
新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議会

12 月 6 日（火）1・2時間目に6年生の「出前模擬選挙」が選挙管理委員、選挙管理委員会事務局、早稲田大学ボランティア学生、明るい選挙推進員の方が来校されました。地域協働学校で取材させていただきましたので一部をご紹介いたします。

模擬選挙

選挙とは何か？　投票の大切さ等の講義後、「あいしてくれてありが党」「音楽改善オリゴ党」「角砂党」「全国のみんなときゅうりにありが党」「覇党」の政党の代表児童による立会演説を行いました。パソコンを駆使し、市谷小学校をより良くする為の主張を堂々と訴えかけていました。演説後、投票管理者の宣言により、本物の投票用紙・記載台・投票箱を使用して投票。開票も本番さながらに開票管理者の宣言により開票作業。厳正な集計の結果、僅差で「全国のみんなときゅうりにありが党」が見事に当選。各党の主張は、自分たちの為ではなく、３月に巣立つ市谷小学校の後輩に向けた、とても温かく力強い内容でした。

今回から保護者の方にも参観・参加していただき、投票をしていただきました。多くの感想を寄せていただきましたので、一部を紹介させていただきます。

〇堂々と演説する候補者、真剣なまなざしで聴く投票者の姿が印象的でした。
〇投票する側も、自分の意見をしっかり持って投票していて、さすが6年生だと思いました。
〇自分たちの意識が社会を変えていく力になることを感じてもらえるよう、是非、今回当選した政策の実現を学校側にも協力していただきたいと思いました。
〇児童の一生懸命考えた公約・演説が良かった。また、選挙が厳正に行われていることが分かり易かった。
〇自分たち6年生というよりも下級生のための施策を考えていて、関心、感動しました。まさに明るい選挙でした。
〇本物の資材を使用して、さながら本当の選挙のようで、流れや仕組みが分かり易く、とても良かったと思います。
〇児童の視点からの問題提起がどれも具体的で切実であることに驚き、大人として真剣に向き合わなければならないと感じました。各候補の演説も堂々としていて素晴らしかった。

６年後１８才になった時「選挙権」を獲得します。とても大切な権利です。その権利を無駄にすることなく、必ず投票に行きましょう！！！

地域協働学校だよりの最新版は市谷小のホームページのトップページ、バックナンバーは以下の URL から
https://www.shinjuku.ed.jp/es-ichigaya/kyoudou_main1.html